

飯綱町立

三水小学校

明日へ

令和元年 6月17日

学校だより第5号

文責：山田

壮大な授業をつくりあげた喜び

＜美しい青空のもと、「全力で スマイルかがやく運動会」ができました＞

真夏を思わせる日が続いていましたが、強い日差しの中、さわやかな空気の中で運動会を行うことができました。終わって2週間がたちますが、この日の印象が強く残っています。前日より少しずつ少しずつ前に進もうと、子どもたちは学習を積み上げてきました。

積み上げてきた成果を発揮して、一生懸命ゴールまで駆け抜けた1年生。

見ている人たちも巻き込み、楽しさを全身で表した「パプリカ」のダンス2年生。

汗をかきながら最後まで笑顔で「信濃の国」を踊っていた3年生。

キレッキレのダンスを目指し、3年生のお手本としても全力で取り組んだ4年生。

6年生を見本にしなが、最後は遜色ない表現力でやりぬいた組体操5年生。

圧巻の組体操、全力疾走、そして休む間もなく係の仕事に精を出す6年生。

定置演奏から行進演奏へと上達し、安定した演奏を披露した鼓笛隊。

ダンスを踊ったり応援をしたりする場面で、笑顔が多く見られた全校児童。

運動会は行事のひとつではありますが、「保護者の方々、地域の方々の協力を得ながら行う、壮大な授業」と位置づけています。子どもたちは一昨日より昨日、昨日より今日、というように少しずつ努力を重ねて当日に至りました。子どもたちのスマイルが一段と輝いた一日でした。



また、1・2年生が「パプリカ」を踊っている時、自席の前で応援していた子どもたちが、1・2年生と一緒に体を動かして踊る姿も見られました。自分の出番が終わって他学年の演技をただ見ているのではなく、一緒になって運動会を楽しみ、応援する様子が見られました。紅白で競う場面では応援団長を中心に自分たちで応援を始め、声を張り上げて応援する姿もありました。これらは学年の異なる子どもたちとのつながりにおける成長と思います。また、

「連学年で何か行う時には、年上の学年児童は必ず手本になって示そうという責任感をもつ姿」

「来入見が走る方向を間違えた時すぐに寄り添ってくれて、その後も安心して走れるように常に支えていた姿」

「縦割りリレーのバトン渡りで、リードすることの大切さをアドバイスする姿」

「速く走る、全力で走るだけでなく、『あきらめないこと』をアドバイスしてリレーチームを本気にさせた姿」

「先輩のアドバイスを素直に実行し、『あきらめないこと』の大切さを実感する姿」などの姿も見られました。これまでもこうした姿は見られましたが、今年は特に相手を意識して動くようになる様子が見られたと思います。支えていただいたおかげで、子どもたちは立派に成長した姿を見せてくれました。

これまで追究してきたことはこれで終わりではありません。走る、競う、表現する、異年齢の友だちを支える、などの学習は運動会がゴールではありません。こうした授業を経験して、自分たちを振り返り、自分たちの育ちや課題を確かめながら、追究は今後も続いていきます。これからも子どもたちを見守り、支えていただければ幸いです。ありがとうございました。



<昼食の扱いについて>

今年度初めて、昼食を教室で食べるようにしました。このことにつきまして、「みんなで食べることを楽しみにしていた」「寂しい」「教室で食べる方が助かる」など、様々なご感想、ご意見をいただきました。子どもたちの健康面や子どもたちの諸活動のしやすさを考えて、このようにさせていただきました。ご理解をいただければ幸いです。今後も、お気づきの点がございましたらお寄せください。ありがとうございました。